

第2次古河市総合計画基本構想(案)パブリックコメント結果

番号	意見(原文)	意見(要旨)	該当箇所	市の考え方(案)	修正欄
1	<p>第2次古河市総合計画基本構想(案)には具体策が全くない。私の具体案は下記の通りです。</p> <p>①古河市に世界的超一流大学を誘致する。 例として東大(工)、ハーバード大、オクスフォード大、コロンビア大、カリフォルニアバークレー校、その他を誘致し、近年30年間に震度7以上の大地震が70%の確立で来るといわれる東京大地震の再来の対策として東大(工)を誘致する。以下のIT、ロボット産業、人工知能に上記大学は必須である。</p> <p>②古河市に大ロボット産業の特設を設け、ロボット産業を誘致する。 今後の人口減少対策、介護人口の増加、農業のロボット化に必須の古河市に、大ロボット産業を誘致し、関連事業の育成により、古河市に大労働市場、若者の働く場所をつくり、全世界にロボットを輸出する。</p> <p>③古河市駅前に超高層マンション(30階、50階、100階)の建設と共に若者を定住させ、家賃3万円、駐車代1万、管理料1万、合計5万円/月の賃料とする(子供2人以上優先)</p> <p>④つくばエクスプレスを常総鉄道を經由して常総市—筑西市—結城市—古河市へ延伸させ、古河市に東北新幹線の停車駅を新設し、東京へこれらの都市から1時間以内の通勤可とする。</p> <p>⑤TPP対策 関税の大幅下げ対策として、県西地区の農産物のブランド化を進め、米の低カロリー化、高ビタミン化、白菜、トウモロシンの高ビタミン化、カボチャの高カロテン化を図り、農産物の改良を図り、牛、豚肉の食べる牧草の非遺伝子化、エサの非遺伝子化による、牛、豚肉の安全性の向上によりブランド化を図り、全世界へ輸出する。さらに販路拡大のため大手商社を活用する。</p> <p>以上の具体策が絶対必要である！さらに、基本構想として、つくばエクスプレスを常総市、筑西市、古河市へ延伸させ、東北新幹線の停車駅を古河市に作り、世界的超一流大学を古河市へ誘致すること。 基本計画として、古河市へ巨大ロボット産業の特設を作り、全世界への輸出基地とする。ロボットの利用は、排尿、排便のロボット化、少子高齢化対策としてロボット化を図り、IT産業の基盤を作り、農業の無人化をロボットで図り、若い人の職場を作る。非正規雇用をなくす。 実施計画として、古河市駅前に20～100階の高層マンションを作り、若い人を家賃3万円、駐車場、管理費を含め、子供2人以上の家庭を優先入居させ、月5万円/家族で入居させ、人口増を図り、東京へ1時間内で通勤させる。さらにTPP対策として、農業のブランド化を図り、米、小麦、大豆等を低カロリーの高ビタミンの含有農作物を作り、さらに牛、豚のエサ、牧草を非遺伝子技術を利用し、安全な農作物を全世界へ国内を含め生産し、大手商社を活用し全世界へ輸出する。 以上の通りを古河市の総合計画基本概要とする。</p>	<p>第2次古河市総合計画基本構想(案)には具体策が全くないので、具体案を下記の通り提案する。</p> <p>①古河市に世界的超一流大学を誘致する。海外の有名大学に加えて、東京大地震の再来の対策として東大(工)を誘致する。IT、ロボット産業、人工知能に大学は必須である。</p> <p>②古河市に巨大ロボット産業の特設を設けて、ロボット産業を誘致し、全世界への輸出基地とする。今後の人口減少対策、介護人口の増加、農業の無人化に必須であり、関連事業の育成により、大労働市場、若者の働く場所づくりにつながる。</p> <p>③古河市駅前に超高層マンションを建設し、若者や子育て世代に安価で貸し出し定住を促す。</p> <p>④つくばエクスプレスを常総鉄道を經由して、常総市、筑西市、結城市、古河市へ延伸させ、古河市に東北新幹線の停車駅を新設し、東京へ1時間以内で通勤可能とする。</p> <p>⑤TPP対策として、県西地区の農産物のブランド化を進め、農産物の改良や、牛、豚肉の安全性の向上を図り、大手商社を活用して全世界へ輸出する。</p>	<p>第6章 ・教育文化 ・産業労働 ・都市基盤</p>	<p>基本構想は、長期的なビジョンとして、古河市のまちづくりの指針となるものであり、未来の“めざすまち”とそれを実現するための施策の大綱を定めるものです。 本基本構想(案)の施策の大綱では、教育文化、産業労働、都市基盤などについて方向性を定めていますが、具体的には、今後「基本計画」や「実施計画」に決めていくこととなりますので、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとしません。</p>

第2次古河市総合計画基本構想(案)パブリックコメント結果

番号	意見(原文)	意見(要旨)	該当箇所	市の考え方(案)	修正欄
2	<p>1意見 都市基盤・生活環境の整備に直結する「古河駅東部地区区画整理」事業の強力なる推進並びに早期完成について。</p> <p>2理由 (1)本事業は平成3年に着手し、10年間余の所要工期を以て完成を見るものであった。しかるに、平成27年の今日に至も未だ完成の日を見ない。就中第2工区に至っては着工すらしていない。それどころか今年の3月に10年間の延長を決定したところであるが、工期の再延期などもっての外である。 (2)本事業は、都市基盤の整備、生活環境の整備に直結する事業であり、若者が住み、子供を育て、そして老いるまで住み続けるには、これらインフラの整備は必要にして欠くことのできない要件である。 (3)古河は元来、渡良瀬川の東岸に開けた街である。従って古河市発展の一般的方向は東である。古河駅の東側には、旧三和町に至るまでに数条の小河川が存在し、いずれも北から南に流れすべて利根川に注いでいる。実はこれら小河川が古河の街を分断し、発展障害の一因ともなっている。 (4)中でも駅に最も近く、最も発展を阻害しているものはどこか。それがこの向堀川なのである。 (5)従って、古河市発展の命脈は、この向堀川の治水、両側の開発整備にかかっていると言っても過言ではない。それほど、本区画整理事業は、古河市発展の死命を制する、重要かつ喫緊の課題なのである。 (6)話は飛躍するが、文明・文化は川のほとりに開けるものである。パリやロンドン、ニューヨーク然り、水を治め、親しみ都市は発展していった。わが古河市も例外ではない。</p> <p>3結言 (1)完成の暁には、整然と区画された宅地、道路、上下水道と一大生活圏の誕生であり、緑豊かな公園はもちろん、水辺の散策も出来、早急なる実現を望むものである。 (2)第2工区に至っては、今現在人の住む居住圏であり、住民の利便性向上を第一に考慮して率直に言えば、明日にも着工してもらいたいと要望する次第である。 (3)10年延長を決めたといえども、古河市の発展を第一優先に考えるならば、さらなる工期の短縮を図り、早期完成に努めていただきたい。 (4)その短縮を図った計画を2か年計画、4か年計画に載せ、全部具現化していただきたい。 (5)本事業の早期なる完成は、さらなる古河市発展の足掛かり(起爆剤)となり得る。</p>	<p>「古河駅東部地区区画整理」事業の強力なる推進並びに早期完成について。 本事業は平成3年に着手したが、未だ完成せず、今年3月に10年間の延長を決定したが、工期の再延期などもっての外である。本事業は、都市基盤・生活環境の整備に直結するものであり、若者が住み、子どもを育て、老いるまで住み続けるには、これらインフラの整備は欠くことのできない要件である。 古河は元来、渡良瀬川の東岸に開けた街であり、発展の一般的方向は東である。しかし古河駅東側では、小河川が街を分断し、発展の障害の一因ともなっている。古河市発展の命脈は、特に向堀川の治水、両側の開発整備にかかっていると言っても過言ではなく、本区画整理事業は、重要かつ喫緊の課題である。</p> <p>完成の暁には、整然と区画された宅地、道路、上下水道と一大生活圏が誕生し、緑豊かな公園はもちろん、水辺の散策もできるので、早急な実現を望む。第2工区に至っては、今現在人の住む居住圏であり、住民の利便性向上を第一に考慮して、早急に着工してもらいたい。10年延長を決めたといえども、古河市の発展を第一優先に考えるならば、さらなる工期の短縮を図り、早期完成に努めてもらいたい。本事業の早期完成は、さらなる古河市発展の足掛かり(起爆剤)となり得る。</p>	<p>第6章 ・都市基盤</p>	<p>本基本構想(案)の施策の大綱では、都市基盤について方向性を定め、この中で「真に必要なものへの戦略的投資による都市基盤整備」や「計画的な都市施設の整備」と記載しています。区画整理事業については、今後「基本計画」や「実施計画」に定めていくこととなりますので、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>

第2次古河市総合計画基本構想(案)パブリックコメント結果

番号	意見(原文)	意見(要旨)	該当箇所	市の考え方(案)	修正欄
3	<p>地方創生:総合生涯教育の町</p> <p>1. 概要</p> <p>(1) あらゆるジャンルのスクールを、ほぼ365日24時間、市内の何処かで・何らかのスクールが実施されている町を目指す。</p> <p>(2) 自分でも気づけなかった新たな才能の発見を目指すため、低料金でいつでも誰でも受講できる環境を作る。(当初興味は無かったが、教室と教室のコマが空いたから時間潰しに受講したら才能があった・面白かったなどを期待)</p> <p>(3) 定年後の人の第2の人生の再発見、若年非就労者の就業意欲の向上、転職希望者の自分に合った職種の判断の援助を目指す。</p> <p>(4) 特に資格等の取得・受験を目指すものではない。</p> <p>(5) 講師(先生)の、年齢・居住地・勤務地は、制限せず登録制とする。</p> <p>(6) 生徒の、年齢・居住地・勤務地は、制限しない。</p> <p>(7) 講師と生徒が近隣市から集まることによる、市の活性化と各種売上が期待出来る。</p> <p>2. 詳細</p> <p>(1) 古河市は、主に場所の提供と資金管理を行うだけ。</p> <p>(2) スクール運営実務を行う希望者を一般から募り、講習スケジュールを作成する。</p> <p>(3) 講師代(時給千円程度)・スクール代(200円/時程度)で、低料金とする。</p> <p>(4) 1コマ1～2時間程度。(例:スクール代1日4時間x30日=24,000円)</p> <p>(5) 1教室10名程度。</p> <p>(6) 座学講習は、昼間は学校の空き教室を利用(少子化による空き教室の利用向上)、夜間はすべての学校の教室を利用する。</p> <p>(7) 実技講習は、公共の体育館・運動場・実技教室、民間の田・畑・店舗・工場などを利用。</p> <p>(8) 講師(先生)は、経験・知識を小遣い程度で、協力出来る人。</p> <p>(9) 実技講習の講師においては、話術が不得意でも、生徒に見せるだけ・一緒に実施するだけでも良い。</p> <p>(10) 講師(先生)は、登録制とし最低数コマ/週は講習出来るように割り振る。</p>	<p>地方創生のため総合生涯教育の町とする。</p> <p>あらゆるジャンルのスクールを開き、市内でいつでも誰でも受講できる環境を作る。自分自身の新たな才能の発見、定年後の楽しみ、就業意欲の向上などにつなげる。市外から人が集まることで、市の活性化も期待できる。</p> <p>市は、主に場所の提供と資金管理を行うだけで、運営は委託し、公共施設等を利用し、安価に講座を提供してもらう。</p>	<p>第6章 ・教育文化</p>	<p>本基本構想(案)の施策の大綱では、教育文化について方向性を定め、この中で「知識と教養を身に付け、学んだことを活かしながら地域をより良くしようと行動する市民を育む」や「市民一人ひとりの目的と意欲に応じた生涯学習づくり」と記載しています。具体的には、今後「基本計画」や「実施計画」に定めていくこととなりますので、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>

第2次古河市総合計画基本構想(案)パブリックコメント結果

番号	意見(原文)	意見(要旨)	該当箇所	市の考え方(案)	修正欄
4	<p>水害に強い街</p> <p>1. 概要 近年の豪雨災害は過去の記録を塗り替えて起こっている。常総市同様に、平地の古河市に於いても河川が氾濫した場合は、何処に逃げても時間差で水没する危険がある。また、9月の水害避難指示での実避難者の割合は、住民数に比較し、かなり少なかったと思われる。にも拘らず避難所は一杯で、他の避難所に移動するよう指示された人もいる。今後の水害避難指示では、常総市の教訓で避難者は相当増えると思われる。そもそも、数万人が実際に避難した場合は、収容人数がオーバーするであろうし、その前に避難のための移動すら困難と容易に想像出来る。さらに避難所自体が、自宅より堤防方面だったり、低層の建物だったり、水害時の避難所の態をなしていない。</p> <p>2. 対策 (1)既存高層建物 ①避難所として学校高層階を利用する。孤立する可能性はあるが、戸建て住宅よりはまし。孤立を前提とした対策を施す。 ②学校高層階の空き教室を、保健室・非常用物資・ゴムボートの置き場とし、近隣の複数自治会の会長に鍵を預ける。平日開校時においては、避難できない生徒の非常用にもなる。 ③屋上を強化しヘリポートを設ける。 ④高層階を持つ大規模店舗については、非常時の避難所として利用する提携を結ぶ。</p> <p>(2)新規公共建物 ①新規の公共建物は高床式とし、低層(1, 2)階は駐車場・市民憩いの場等、水没可能とするか、水密区画階(平時は、水密扉を開けて車での出入りも可能)とし、非常用物資置き場とする。 ②水没時の水密区画への出入りは、上層階から階段・スロープを利用可能とする。 ③人力昇降する滑車を設ける。 ④屋上ヘリポートを設ける。</p> <p>(3)大規模橋梁(新三国橋など) 橋が破壊されない限り、最強の避難場所たりうる。 ①大規模路側帯(避難場所)・避難小屋を設ける。 ②小屋には非常用物資を備蓄する。近隣の複数自治会の会長に鍵を預ける。 ③可能なら橋上に公共施設を建設する。</p>	<p>水害に強い街 近年の豪雨災害は過去の記録を塗り替えて起こっており、常総市同様に、平地の古河市においても河川が氾濫した場合は、水没する危険がある。9月の水害避難指示の際、すでに避難所がいっぱいだったが、常総市の教訓から、今後の水害避難指示では、避難者が増えると思われるので対策が必要である。 そこで、避難所として、学校や大規模店舗などの高層建物、大規模橋梁(新三国橋など)を利用したり、新たな公共施設を建てる際は水害に対応できるものとする。</p>	<p>第6章 ・生活環境</p>	<p>本基本構想(案)の施策の大綱では、生活環境について方向性を定め、この中で「災害に強く(中略)、安全に暮らせる環境づくり」と記載しています。 ご提案の防災・減災への対応は、今回の関東・東北豪雨を受け、市民意識も高まっており、必要な事項だと考えております。具体的には「基本計画」や「実施計画」に定めていくこととなりますので、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>

第2次古河市総合計画基本構想(案)パブリックコメント結果

番号	意見(原文)	意見(要旨)	該当箇所	市の考え方(案)	修正欄
5	<p>大規模農業区域、工業区域、大都会区域、一戸建て住宅区域、歴史観光区域に分け、選択と集中により、効率化を徹底させる。</p> <p>古河公方の屋敷と古河城を復元し、市のシンボルとする。</p> <p>都市計画によって、最も暮らしやすいように必要な施設をコンパクトに機能的に配置する。例えば大都会区域なら、建物を高層化することによって、住居から職場、買い物、病院等に、車が無くても30分以内に行けるようにする。一戸建て住宅区域なら、それらに車を使って30分以内に行けるようにする。</p> <p>全区域で、色や形に統一感を出し、ヨーロッパのように、トータルコーディネートされた、美しい街並みにする。</p> <p>更に具体化してみる。</p> <p>総合公園から、お雀神社、古河駅西口方面にかけて歴史観光地区とし、江戸時代以前の建物と、明治から戦前にかけてのヨーロッパ風の建物を復元する。古河駅東口近辺を高層ビルが立ち並ぶ未来都市区域とする。そして一戸建て住宅区域がそれらを取り囲むようにする。旧総和町区域を工業地域プラス古河シリコンバレー区域とし、未来の産業を育成する区域とする。旧三和町区域を大規模農業専用区域とする。</p>	<p>大規模農業区域、工業区域、大都会区域、一戸建て住宅区域、歴史観光区域に分け、選択と集中により、暮らしやすいように必要な施設をコンパクトに機能的に配置する。全区域で、色や形に統一感を出し、ヨーロッパのように、トータルコーディネートされた、美しい街並みにする。</p> <p>具体的に言うと、総合公園から、お雀神社、古河駅西口方面にかけて歴史観光区域とし、古河駅東口近辺を高層ビルが立ち並ぶ大都会区域とし、一戸建て住宅区域がそれらを取り囲むようにする。旧総和町区域を工業地域プラス古河シリコンバレー区域とし、未来の産業を育成する。旧三和町区域を大規模農業専用区域とする。</p>	<p>第6章 ・都市基盤</p>	<p>本基本構想(案)の施策の大綱では、都市基盤について方向性を定め、この中で「古河らしさを表現し市民の愛郷心の高揚につながるような景観の保全と創造」と記載しています。</p> <p>なお、区域を分け選択と集中により、効率化を徹底させるといご提案を受け、分野別の大綱内【都市基盤】に「機能的な土地利用」を追記します。</p> <p>具体的には、今後「基本計画」や「実施計画」及び個別計画を策定していくうえで、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>「さらに、地域間・業種間の連携を進め、企業立地につながるよう、バランスに配慮し機能的な土地利用に努めていきます。」</p>
6	<p>1. 概要</p> <p>高度成長期以降の自家用自動車の普及により、路線バスの利用者が減少し、それに伴い運行本数自体も減少し、結果的に移動手段に耐えない状況となっている。</p> <p>一方、高齢者による事故の増加が問題ともなっている、また若年層の自動車離れの傾向もあるが、移動手段の需要が減っているとは思えない。</p> <p>実際、朝・夕の通勤(通学)・帰宅、買い物など移動の需要は多い。</p> <p>つまり、移動に利用しやすい環境を整えれば、路線バスでも利用が向上する余地は十分にあると思われる。</p> <p>駅までの路線バスが増えれば、駅ロータリーの渋滞緩和と駐車場の減少による駅周辺の開発が見込まれ、個別での移動が抑えられ、ecoにも貢献する。</p> <p>2. 対策</p> <p>(1) 移動需要が多い、市内主要地域より駅まで直行するシャトルバス的な路線バスを運行する。(循環バス的な、直行すれば早いのが、回り道するため時間が掛かれば、利用者は減る)</p> <p>(2) 朝夕の混雑時は、最大でも15分程度の間隔で運行する。それを超えると、自家用車が利用される。</p> <p>(3) バス発着の市内主要地域には、低料金(可能なら無料)の駐車場を設ける。駐車場代を低く抑えることにより、現在駅周辺に駐車場を借りている人のバスへの回帰を図れる。</p> <p>(4) 市内主要地域間を相互に結ぶシャトルバス的な路線バスを運行する。</p> <p>(5) 自宅から市内主要地域までは自力での移動が必要だが、それ以降はバスのみで移動出来る。</p> <p>(6) バスの利用料は、100円/回程度とする。高齢者は200円/日程度。通勤・通学では、5000円/月程度まででない、需要が見込めない。</p>	<p>自家用自動車の普及により、路線バスの利用者が減少し、それに伴い運行本数自体も減少して、結果的に移動手段に耐えない状況となっている。一方、高齢者による運転事故の増加が問題となっている。また、若年層の自動車離れの傾向もあるが、朝・夕の通勤(通学)・帰宅、買い物など移動手段の需要は多い。つまり、移動に利用しやすい環境を整えれば、路線バスでも利用が向上する余地は十分にあると思われる。路線バスが増えれば、駅ロータリーの渋滞緩和と駐車場の減少が見込まれ、エコにも貢献するので、対策が必要である。</p> <p>移動需要が多い市内主要地域より駅まで直行する路線バスを運行する。停留所周辺に駐車場を設けたり、朝夕の運行本数の増加、利用料を抑えることなどにより、通勤・通学で利用しやすいようにする。</p>	<p>第6章 ・都市基盤</p>	<p>本基本構想(案)の施策の大綱では、都市基盤について方向性を定め、この中で「都市の活力と市民の利便性を向上させるための交通基盤の整備」と記載しています。具体的には、「基本計画」や「実施計画」に定めていくこととなります。併せて今後、公共交通の個別計画を策定するうえで、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>

第2次古河市総合計画基本構想(案)パブリックコメント結果

番号	意見(原文)	意見(要旨)	該当箇所	市の考え方(案)	修正欄
7	<p>ふるさと納税実施すべきと思います。レターセット等ではなく、古河市には取り寄せて喜ばれるものが多くあると思っています。PRIになるし、活性化になると思っています。何十億(他市)とは言いませんが、1億もあれば、とても税収は魅力です。</p>	<p>ふるさと納税を実施すべきだと思う。古河市にはお礼として喜ばれる特産品などが多くあるので、PRIになるし、活性化になると思う。1億もあれば、税収としてはとても魅力的である。</p>	<p>第7章 ・行財政</p>	<p>本基本構想(案)の「構想推進のために」では、行財政について方向性を定めています。市ではすでにふるさと納税を行っており、今年度より新たに返礼品を拡充し、PRIに努めております。今後、更なる収収確保策についても検討してまいります。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>
8	<p>第6章分野別未来の「めざすまち」の基本方向(施策の大綱)、5.「生活環境」安全で快適な古河をつくる。とあるが、三杉町の古河市斎場近辺に住む住民にとっては、快適とは逆の環境となっている。 というのは、時間的には限定を受けるものの、斎場から出る黒煙、異臭、炎、ボイラー音等に悩まされている。特に異臭については耐え難い。 本件については、環境課と数回にわたり、実態の説明等の会合、周辺の臭気測定等実施しているが、短期的問題は1部実施されているものもあるが、長期的問題については予算のこともあり、明確な回答を得ていない。漏れ伝えられる話によると、斎場を拡張し、そこに新規設備を導入すると聞いているが、今後どのような方向付けをしようとしているか、将来の構想を聞きたい。 ①公害の可能性の高い斎場が市の中心部にあることについてどう考えておられるか。 ②現焼却設備は昭和47年に導入され、都度の修理と毎年1回のメンテを行っているようであるが、導入後40数年を経過しており、高温で使用するから考えると、当然のことながら老朽化が進み更新の時期(エレベーター、立体駐車場などは通常30年で、更新されると聞いている)を過ぎているとみられる。当然建物の更新に伴うものと考えられる。 ③更新の際には周辺住民への説明及び合意が欠かせないと考えますが・・・必須事項。「快適な古河」をつくるためには、重要なことと考え意見書とします。</p>	<p>第6章に「安全で快適な古河をつくる」とあるが、古河市斎場近辺に住む住民にとっては、快適とは逆の環境となっている。斎場から出る黒煙、異臭、炎、ボイラー音等に悩まされており、特に異臭については耐え難い。 環境課と会合等を持ったが、長期的問題は予算のこともあり、明確な回答を得ていないので、今後どのような方向付けをしようとしているか、将来の構想を聞きたい。 ①公害の可能性の高い斎場が市の中心部にあることについて、どう考えているか。 ②現焼却設備は昭和47年に導入され、都度の修理と毎年1回のメンテを行っているようであるが、導入後40数年を経過しており、高温で使用するから考えると、当然のことながら老朽化が進み更新の時期を過ぎているとみられ、当然建物の更新に伴うものと考えられる。 ③更新の際には周辺住民への説明及び合意が欠かせないと考える。</p>	<p>第6章 ・生活環境</p>	<p>基本構想は、長期的なビジョンとして、古河市のまちづくりの指針となるものであり、未来の「めざすまち」とそれを実現するための施策の大綱を定めるものです。 本基本構想(案)の施策の大綱では、生活環境について方向性を定めています。具体的には、今後「基本計画」や「実施計画」に定めていくこととなります。個別の案件につきましては、当該案件に該当する計画を策定する中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>
9	<p>環境について。 私たち近隣住民には住みよい街には、ほど遠い環境です。近くにある古河市斎場の事ですが、大変迷惑しております(悪臭、煙、騒音、排ガス、その他)などです。住宅街にあまりにも近すぎると思えます。住いの土地購入は(古河市と地権者の三杉区画整理組合)より保留地を住宅地として入札購入したのです。私の他10数名でした。 配置地図、現地説明会、入札説明書では公園予定地でした。現在は斎場です市は約束を守って頂きたいと思っています。早急に移転を考えて頂きたい。現在自治会から市の方に要望して頂いておりますが、以上宜しくお願い致します。</p>	<p>住みよい街にはほど遠い環境だ。古河市斎場は、住宅街にあまりにも近すぎて、悪臭、煙、騒音、排ガスその他に、大変迷惑している。住いの土地購入の際の説明会などでは公園予定地だったのに、斎場になったのは約束が違う。早急に移転を考えてもらいたい。</p>	<p>第6章 ・生活環境</p>	<p>基本構想は、長期的なビジョンとして、古河市のまちづくりの指針となるものであり、未来の「めざすまち」とそれを実現するための施策の大綱を定めるものです。 本基本構想(案)の施策の大綱では、生活環境について方向性を定めています。具体的には、今後「基本計画」や「実施計画」に定めていくこととなります。個別の案件につきましては、当該案件に該当する計画を策定する中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>

第2次古河市総合計画基本構想(案)パブリックコメント結果

番号	意見(原文)	意見(要旨)	該当箇所	市の考え方(案)	修正欄
10	<p>・文化センター予定地に、ぜひとも市民霊園を作ってほしい。私たち自治会の人たちは皆他県から移住し30年以上住んでいるが、ここのお寺は地元の間人以外は受け入れる余裕はなく、閉鎖的。そのため、皆ここを永住の地としているが、お墓のことを考えると心配。文化センター予定地の場所なら、駅から近く、遠くに住んでいる身内も楽に行ける。ぜひとも検討してほしいです。</p>	<p>文化センター予定地に、ぜひとも市民霊園を作ってほしい。他県から移住し30年以上住んでいるが、お寺は地元の間人以外は受け入れる余裕はなく閉鎖的で、ここを永住の地としているが、お墓のことを考えると心配である。文化センター予定地の場所なら、駅から近く、遠くに住んでいる身内も楽に行けるので、ぜひとも検討してほしい。</p>	<p>第6章 ・生活環境</p>	<p>基本構想は、長期的なビジョンとして、古河市のまちづくりの指針となるものであり、未来の“めざすまち”とそれを実現するための施策の大綱を定めるものです。本基本構想(案)の施策の大綱では、生活環境について方向性を定めています。具体的には、今後「基本計画」や「実施計画」に定めていくことになります。個別の案件につきましては、当該案件に該当する計画を策定する中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>
11	<p>・道の駅健康センターは、いずれ免許を返上することを考えたら、とてもタクシー以外は無理。老人の運転事故が多発する現代において、いずれ免許は返上するので、その時のことを考えると心配。年金生活でタクシー代は無理。ぜひともつつみ館のような、歩いて行ける場所で健康検診を受けられるように考えてほしい。私の自治会は、ほとんどの人が60代70代なので、皆心配しています。</p>	<p>ぜひともつつみ館のように、高齢者が歩いて行ける場所で健康診断を受けられるように考えてほしい。道の駅健康センターは、車でないとアクセスできないが、高齢者の運転事故が多発しているの心配だし、年金生活でタクシー代を出すのは無理である。</p>	<p>第6章 ・都市基盤</p>	<p>本基本構想(案)の施策の大綱では、都市基盤について方向性を定め、この中で「都市の活力と市民の利便性を向上させるための交通基盤の整備」と記載しています。高齢化が進行する中、公共施設等へのアクセス性を確保することは必要と考えています。具体的には、「基本計画」や「実施計画」に定めていくことになります。併せて今後、公共交通の個別計画を策定するうえで、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>
12	<p>・小堤郵便局で年金等で利用しているが、国道125号線のため大型トラック等が非常に多く、免許返上のことを考えて徒歩で行ったが、風圧で飛ばされそうになり、また、横スレスレに車が通行するのでとても怖かった。もっと安全な場所、つつみ館のそばor今新しくできたとりせんの敷地内or白元さんの土地のすみ等を利用して、安全に歩いて行ける場所にぜひとも移動してほしい。他の人にもいろいろと聞いたが「あそこの郵便局は徒歩では危険だよ」と言っている。将来的には老人の多い市になると思うが、運転免許も必ず返上するようになるので、ぜひとも安心して生活できるように考えてほしい。よろしくお願ひします。</p>	<p>小堤郵便局は国道125号沿いにあるため交通量が多く、徒歩ではとても怖いので、安全に歩いて行ける場所にぜひとも移動してほしい。将来的に高齢者が多くなって、運転免許の返上も必要になるので、安心して生活できるように考えてほしい。</p>	<p>第6章 ・生活環境</p>	<p>ご提案の内容については、事業者が自主的に取り組むべき領域と考えております。また、本基本構想(案)の施策の大綱では、生活環境について方向性を定め、この中で「交通事故などが少ない、安全に暮らせる環境づくり」と記載しています。高齢化が進行する中、道路等の安全性を確保することは必要と考えています。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>
13	<p>みどり文化と工業の街まくらが古河 昨日よかつべ祭に参加、みなさん地元業者の協力、芝生にあそぶ親子も絵のよう。花桃で市長をみたハンサムだ。介護タクシーで古河市をまわった。広いね。 今日8日に投函できればな。 この古河市を住民がすこやかに平和。外来・喜びたのしく・ゆかいに訪れるようにするにはどんなまちづくりがいいのかな。 まず、この市の地域の歴史平将門から出てこないが歴史散策コース自然林が沢山残っている。森林ボーケンパーク、昆虫の林(勉強)キャンプ場賞出てもよい。小さな牧場、乳しほりetc、三和、総和を、広大な工業団地、工場には見学コース、サービスコーナー付でいい。文化は旧古河を有効利用し、文学散策コース、寺社めぐり、わたらせ川をつかって水遊び場、釣り場etc 旧古河市では、歴史博物館と高見泉石、スペースU、寺社めぐりスタンプと貸自転車、街中のトイレ位かな？ 乱筆ゴメンナサイ。とりあえずNo.1</p>	<p>住民が健やかで平和に暮らし、外から来る人が楽しめるように、歴史文化の散策、寺社めぐり、渡良瀬川や森林など自然を活かした体験や遊び、工場見学などを提供するとよい。</p>	<p>第4章 第5章</p>	<p>本基本構想(案)では、未来の“めざすまち”の姿を「華のある都市 古河」と位置づけており、めざすまちの基本方向において「訪れてみたい・働いてみたい、地域資源が活かされ活力があるまち」を掲げております。この実現に向けた取組の中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>	<p>本基本構想(案)としては修正しないものとします。</p>